

2024年度 母性看護学領域

中村幸代(教授) 竹内翔子(講師) 篠原枝里子(講師) 渡邊智美(助教)

2024年度母性ゼミ生の研究活動

2024年12月3日(火)に卒業研究発表会が行われ、母性ゼミ生11名が個々の研究テーマで発表を行いました。また、2月8日に開催された第38回神奈川母性衛生学会学術集会にて、ゼミ生2名が卒業論文の一部を口頭発表し、4名が卒業論文を専門雑誌に投稿中です。論文採択に向け、引き続きサポートしていきます！

<卒業研究を終えて>

卒業研究では研究に必要なことや新たな視点など、多くの学びを得ることができました。卒業研究で学んだことを生かし、実習や研究に役立てていきます。

2025年度ゼミ生 鍵谷 朱里さん



2024年度修了生より 大学院での研究活動を通して



博士後期課程では、初めて介入研究を行いました。これまでの研究との違いに戸惑いながらも、先生方をはじめ周りのサポートで最後までやり遂げることができました。この研究活動を通して、研究を行う上での研究計画の重要性を改めて学びました。大学院での経験は、これから研究を行う上での自信となり、力になると感じています。今後は、研究の成果を臨床で活かせるような活動を続けていきたいと思っています。

博士後期課程健康支援看護学分野修了 藤本久江さん

大学院での2年間を通して、研究の基礎を学べただけでなく、先生方やゼミの仲間から多くのことを学びました。先生方は学生一人ひとりの個性や進捗に寄り添い、丁寧に指導してくださり、ゼミでは仲間同士で相談し協力し合いながら研究を深めることができました。臨床の現場で感じる「なぜ？」という疑問を明確化し、探究できる素晴らしい環境の中で得た学びを、今後に活かしていきたいと考えています。

博士前期課程母性看護学分野修了 鈴木梓さん

初めての本格的な研究活動に不安を抱いていましたが、先生方やゼミ生と取り組めたことで修了まで取り組むことができました。大学院生活では、物事に対する見方、考え方を深めることができたと感じています。助産師として根拠に基づいた助産ケアの実践ができるよう、これからも日々精進していきたいです。

博士前期課程助産学分野修了 岩渕彩菜さん

卒業論文とは違い、初めて行う量的研究に難しさや不安も大きかったのですが、先生方の温かいご指導や院生間のサポートもあり、最後まで研究に向き合うことができました。これまで学んできたことを活かし、一人ひとりの女性やその家族に寄り添える助産師になれるよう精進していきたいと思っています。

博士前期課程助産学分野修了 中本咲鈴さん

教員の研究活動① 海外学会での研究発表

2025年2月13日～14日に韓国ソウルで開催された第28回EAFONS (East Asian Forum of Nursing Scholars)に参加し、各教員の研究やフィリピンFWIに関する実践報告についてポスター発表を行いました。博士後期課程や前期課程の学生も参加し、とても賑やかな国際学会への参加となりました！



教員の研究活動② 冷え症研究のリーフレットが完成！

中村幸代教授が取り組んでいる冷え症研究に関する新しいリーフレットが完成しました！「冷え症セルフチェックガイド」、「冷え症診断ガイド」、「冷え症ケア実践尺度を活用したケア評価ガイド」の3種類です。右記のQRコードからご覧いただけます。ぜひ臨床でご活用ください！



★本学大学院へ進学をお考えの方はお気軽にご連絡ください。

連絡先: yubosei@yokohama-cu.ac.jp

※2025年度のオープンラボは4月18日(金)に開催予定です。